

(案)地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月16日

協議会名: 見附市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
越後交通(株)	長岡駅＝今町＝東三条駅線	・バス事業者と連携し路線の維持のための検討を行い、路線の維持に努めた。 ・見附市内在住の高齢者を対象に、公共交通で利用できる利用券を配布し、利用促進に努めた。	A	運行系統の維持 公共交通空白地域の解消率 公共交通の満足度 ①現状の4路線を維持する事が出来た。 ②路線を維持することで解消率についても維持することができた。 ③63.8%で満足度は維持する事ができた。	①運転手不足の現状を踏まえ、市の幹線全体を維持していく方法を検討していく。 ②路線を維持するため、モビリティマネジメントに取り組む。 ③満足度を維持・向上させていくため、市民ニーズの把握に努める。
越後交通(株)	長岡駅＝今町5丁目線	・バス事業者と連携し路線の維持のための検討を行い、路線の維持に努めた。 ・見附市内在住の高齢者を対象に、公共交通で利用できる利用券を配布し、利用促進に努めた。	A	運行系統の維持 公共交通空白地域の解消率 公共交通の満足度 ①現状の4路線を維持する事が出来た。 ②路線を維持することで解消率についても維持することができた。 ③63.8%で満足度は維持する事ができた。	①運転手不足の現状を踏まえ、市の幹線全体を維持していく方法を検討していく。 ②路線を維持するため、モビリティマネジメントに取り組む。 ③満足度を維持・向上させていくため、市民ニーズの把握に努める。

越後交通(株)	長岡駅＝百束＝栃尾車庫線	・バス事業者と連携し路線の維持のための検討を行い、路線の維持に努めた。 ・見附市内在住の高齢者を対象に、公共交通で利用できる利用券を配布し、利用促進に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	運行系統の維持 公共交通空白地域の解消率 公共交通の満足度 ①現状の4路線を維持する事が出来た。 ②路線を維持することで解消率についても維持することができた。 ③63.8%で満足度は維持する事ができた。	①運転手不足の現状を踏まえ、市の幹線全体を維持していく方法を検討していく。 ②路線を維持するため、モビリティマネジメントに取り組む。 ③満足度を維持・向上させていくため、市民ニーズの把握に努める。
越後交通(株)	長岡駅＝百束・楡原＝栃尾車庫線	・バス事業者と連携し路線の維持のための検討を行い、路線の維持に努めた。 ・見附市内在住の高齢者を対象に、公共交通で利用できる利用券を配布し、利用促進に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	運行系統の維持 公共交通空白地域の解消率 公共交通の満足度 ①現状の4路線を維持する事が出来た。 ②路線を維持することで解消率についても維持することができた。 ③63.8%で満足度は維持する事ができた。	①運転手不足の現状を踏まえ、市の幹線全体を維持していく方法を検討していく。 ②路線を維持するため、モビリティマネジメントに取り組む。 ③満足度を維持・向上させていくため、市民ニーズの把握に努める。
越後交通(株)	長岡駅＝新町・耳取＝上見附車庫線	・バス事業者と連携し路線の維持のための検討を行い、路線の維持に努めた。 ・見附市内在住の高齢者を対象に、公共交通で利用できる利用券を配布し、利用促進に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	運行系統の維持 公共交通空白地域の解消率 公共交通の満足度 ①現状の4路線を維持する事が出来た。 ②路線を維持することで解消率についても維持することができた。 ③63.8%で満足度は維持する事ができた。	①運転手不足の現状を踏まえ、市の幹線全体を維持していく方法を検討していく。 ②路線を維持するため、モビリティマネジメントに取り組む。 ③満足度を維持・向上させていくため、市民ニーズの把握に努める。

越後交通(株)	長岡駅＝新町・浦瀬＝上見附 車庫線	・バス事業者と連携し路線の維持のための検討を行い、路線の維持に努めた。 ・見附市内在住の高齢者を対象に、公共交通で利用できる利用券を配布し、利用促進に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	運行系統の維持 公共交通空白地域の解消率 公共交通の満足度 ①現状の4路線を維持する事が出来た。 ②路線を維持することで解消率についても維持することができた。 ③63.8%で満足度は維持する事ができた。	①運転手不足の現状を踏まえ、市の幹線全体を維持していく方法を検討していく。 ②路線を維持するため、モビリティマネジメントに取り組む。 ③満足度を維持・向上させていくため、市民ニーズの把握に努める。
越後交通(株)	長岡駅＝麻生田＝上見附車庫線	・バス事業者と連携し路線の維持のための検討を行い、路線の維持に努めた。 ・見附市内在住の高齢者を対象に、公共交通で利用できる利用券を配布し、利用促進に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	運行系統の維持 公共交通空白地域の解消率 公共交通の満足度 ①現状の4路線を維持する事が出来た。 ②路線を維持することで解消率についても維持することができた。 ③63.8%で満足度は維持する事ができた。	①運転手不足の現状を踏まえ、市の幹線全体を維持していく方法を検討していく。 ②路線を維持するため、モビリティマネジメントに取り組む。 ③満足度を維持・向上させていくため、市民ニーズの把握に努める。

(案)事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月16日

協議会名：	見附市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	見附市は新潟県の中心に位置し、面積77.91Km²、人口約38,000人の小規模な市である。近年ではマイカー中心のライフスタイルが進み、公共交通(特に路線バス)の利用者が年々減少しており、バス路線の廃止、減便が行われることで自動車の運転ができない学生や高齢者の移動において利便性が低下してきている。 市ではコミュニティバスが交通結節点を経由し、地域間幹線系統であるJRや路線バス等と接続することで、地域公共交通網の整備を進め、住民が自由に移動できる環境を整えることとしている。また、コミュニティバスのルート上に市の主要施設を配置し、都市機能のコンパクト化を図る事で、外出しやすい状況を生み出すとともに、地域間交流を促し住民の健康増進にもつなげるものとする。